

2018年8月号

Vol.59

月刊



日々ぼちぼちと



発行：(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち 岡山県小田郡矢掛町小林27番地 TEL：0866-82-2277
http://kamurado.com E-mail：info@kamurado.com

このニュースレターは、小規模多機能ホームぼちぼち、何でも屋・福祉タクシーせなかきとご縁のある方に贈ります。

7月の豪雨災害により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。
1日も早い復旧・復興をお祈りします。

ぼちぼちでの様子&活動

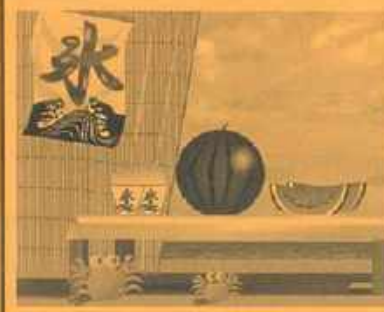
ぼちぼちの7月の様子ですが、7月と言えばやはり七夕!!皆さんに
願い事を書いていただき、七夕飾りを作り、笹に飾り付けを行いました。
また、イベントとしまして、昼食のそうめん錦糸卵で天の
川を!ミニトマトで星をイメージした飾り付けを皆さんにさせていただきました
ましたよ!! 2日間にわたり様々な盛り付けをして
楽しみました。個性が出ますよね。自分で盛り
付けたご飯は、やはり美味しく感じますよね~!!
8月はどんなイベントが予定されるか、これまた楽
しみです。
(林田恵美)



利用者さん・ご家族との係わりの中で ~絆~

(前号より)事業所へスタッフが戻り、看護師に報告、その後状況把握のため訪
問する。本人はベッドに横になっており声かけを行う。目を閉じたままであったが
、熱を測ろうとすると手や足をごそごそ動かされる。バイタルサインは落ち着いて
おり、おでこの腫れも少し引いている。また、少し皮膚が剥離しかけているが内
出血もなく、様子を見て何かあれば連絡をくれるようにと家族に伝え事業所に戻
った。その後、家族が病院へ連れて行ってほしいことはなかったと、ほっとし
た様子で話される。また、何かあったらすぐに訪問してくれるので助かりますと
言われる。
(林田恵美)

スタッフのつぶやき



今年こそは海に行く!絶対に海に行く!!と決めていたの
に、どうやらまた、海に行けそうにない。いや~この暑さで
外に出る気がしないのである。
災害級といわれているこの暑さで外に出ると体が参って
しまいそう。こんな時はインドアな趣味をするのが一番!?
である。
(岡本博誉)



認知症・認知症予防のお役立ち情報

一発症から診断まで：①認知症の基礎知識一

《前号からの続き・・・認知症の原因は？》

認知症は脳になんらかの機能的、器質的変化が生じて起こるものです。代表的なものはアルツハイマー型認知症と脳血管性の認知症とに分類されますが、高齢者の身体状態・精神状態・生活環境状態によっても左右されます。

認知症の主な原因は

認知症にはいくつかの種類があります。原因はその種類によりさまざまですが、多くはアルツハイマー型やレビー小体型などのように、異常な蛋白質の産生や蓄積により脳細胞が死滅し、障害が起こることに起因しています。

アルツハイマー型認知症

認知症の割合として最も多いアルツハイマー型認知症は脳にアミロイドβというたんぱく質がたまり正常な神経細胞が壊れ、脳萎縮が起こることが原因とされています。

(認知症ネットより・次号に続く)



お知らせ・予定

★ボランティア募集 畑作業(花や野菜植え、土の手入れ等)をしてくださる方

8月2～4日、6～9日 13:00～15:00 矢掛中学校生夏ボラ6名

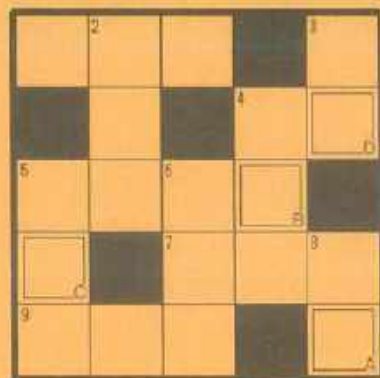
8月20日(月) 15:00～15:30 紙芝居ボランティア(高橋さん)

8月22日(水) 10:00～11:00 出前講座(和楽会)

8月28日(火) 14:00～15:00 歌のボランティア(田中さん)

クロスワードパズル

認知症予防にもなるクロスワードパズルに答えて、粗品をゲットしよう！
正解者の方、先着10名様にささやかではありますが粗品をプレゼントします。
どしどし、ご応募下さい。(事業所までお越し下さい)



☆☆たてのカギ☆☆

たて2：ある決められた数や時間、量よりも小さいこと。

たて3：積み重なったもの。かさなり。

たて4：ヨーロッパ中部にある国。昔から学問や芸術の分野ですぐれた人が多くでている。首都はベルリン。

たて5：背中を中心を走る太い骨。脊柱。

たて6：本人に代わって物事を処理すること。また、その人。

たて8：もれること。必要な事柄が抜けること。

☆☆よこのカギ☆☆

よこ1：よく似ていること。

よこ4：首・手足・シッポ以外の体の部分。

よこ5：集会・儀式・事業などが大規模に行われること。

よこ7：ふだん。いつでも。常に。

よこ9：眠ること。眠った状態になること。死ぬこと。

答え：



編集後記

7月の豪雨災害では未曾有の大災害となり、多くの人が犠牲となった。その多くが高齢者で逃げ遅れたの水死である。「晴れの国岡山」のキャッチフレーズにもあるように、岡山は災害が少ない住みやすい地域と言われてきた。今回被災された人たちの多くが、まさか自分の所が災害に遭うとは思っていなかったらしい。そんな甘い考えを排し、いざという時のための対応に本気で取り組んでいきたい。
(村上)